

令和6年度 全国学力・学習状況調査結果分析及び改善に向けた対応

江戸川区立臨海小学校

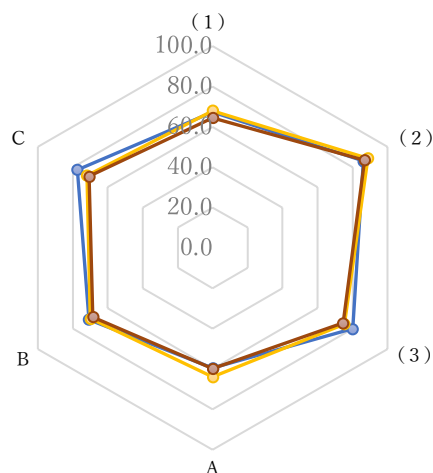
国語

【平均正答率】

臨海小学校	71%
江戸川区（区立）	68%
東京都（公立）	70%
全国（公立）	67.7%

平均正答率は都よりも若干高く出ている。問題類型について考察すると、【A 話すこと・聞くこと】の正答率が最も低く 59.5%、次いで【(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項】が 67.3% である。どちらも 70% を大きく下回っており、日常の学習において重点的に育てていく必要がある。【(2) 情報の扱い方に関する事項】86.2% や【C 読むこと】77.4% が高く出しており都や全国平均と比べても優れていることから、これをうまく活用することで思考・判断・表現に関する力を伸ばしていけるよう、指導内容・方法を工夫していきたい。

臨海小 東京都（公立） 全国（公立）



- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- (2) 情報の扱い方に関する事項
- (3) 我が国の言語文化に関する事項
- A 話すこと・聞くこと
- B 書くこと
- C 読むこと

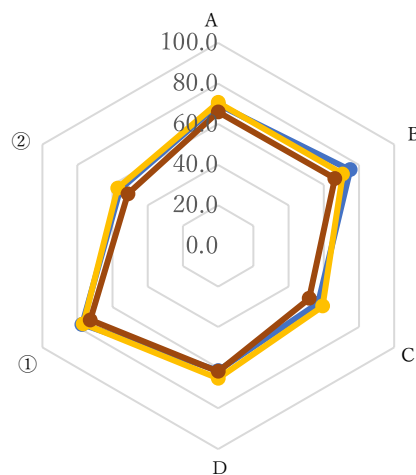
算数

【平均正答率】

臨海小学校	68%
江戸川区（区立）	64%
東京都（公立）	68%
全国（公立）	63.4%

平均正答率は都と同等である。領域や評価の観点に着目して考察すると、全般的に【知識・技能】に関する問題を得意としている傾向がみられるが、【思考・判断・表現】に関する問題は正答率が 55.6% と課題が見られている。例年課題であった図形領域の正答率が高くなっており、重点的に指導をしていた成果が見られている。【C 変化と関係】領域の課題に対して、問題について比較検討をする場面を多く取り入れることで、思考・判断・表現の力を伸ばすとともに、改善を図りたい。

臨海小 東京都（公立） 全国（公立）



- A 数と計算 B 図形 C 変化と関係 D データの活用
- ①知識・技能 ②思考・判断・表現

総括

本校児童はまじめで熱心に学習に取り組んでいる。調査の結果からも、日々の積み重ねから知識・理解が着実に身につけていることが伺える。しかし、国語・算数とも思考・判断・表現に関する項目に課題が見られた。知識・技能を存分に活用できるよう、日々の学習の中で課題について意見交換・比較検討する場面を多く取り入れ、思考力を育てていきたい。